

ワンテン
1 10 千人会

あなたの足跡を母校に残しませんか!
同窓生一人一人の団結が力です!
あなたの善意を母校に刻みましょう!
母校の発展はあなたの発展!

熊薬研究助成支援の会

「1 10千人会」について

熊薬研究助成会
会長 田代 昭

「1-10 千人会」は平成7年に発足して以来、熊薬同窓会会員の皆様のご理解とご協力により、すでに千名を越える入会をいただいております。これにより平成8年より毎年3～5名の熊薬若手研修員である助手クラスの先生方に研究助成金の贈呈を行っております。

ご承知のように、国立大学の改革の波はいよいよ加速され、大きく変わるうとしています。このような中において、我が母校である熊薬はここ数年來の研究施設の充実・拡大、大学院医学薬学研究部の設置などは正に目を見張るものがあります。このような環境の中で、熊薬が教育・研究面においてすばらしい成果を挙げ、その存在価値をさらに高めてもらうことは、私ども同窓生としても誇り高く思うものであります。我が熊薬同窓会会員一人一人の結集が大きな力となり、さらなる熊薬の充実・発展に少しなりとも寄与できるものと信じております。この意味で「1-10 千人会」の果たす役割は、極めて大きな意義を持っているものと思っております。

「継続は力なり」と申します。すでに千人を越えるご入会をいただいたとはいえ、熊薬研究助成を永く継続させるためにも、現在未入会の会員の方には是非ともこの会の主旨にご賛同いただきご入会をお願い申し上げます。また、すでに入会后完納された方にも、誠に恐縮でございますが再入会についてご配慮いただきたくお願い申し上げます。

熊薬同窓会からのお願い

今回、1 10千人会の完納者の皆様にも、失礼ながら振込用紙を同封させて頂きました。勝手に恐縮ながら、再度の温かいお志を祈念申し上げます。

本会報の発行を含め熊薬同窓会の活動にかかる費用は、会員の皆様方の会費および寄付金よりまかなわれております。諸経費の値上がりや会員数の増大(本会報は会員全員に郵送されております)に伴い、予算が余裕のないものになりつつあります。現在、会費納入率は全会員数の約3割です。何卒、年2,000円の会費の納入による御協力をお願いいたします。また、本会報には今年度の会費用と1 10千人会用の2種類の振込用紙が同封されております。振込口座が異なりますので、お間違いのないようお願いいたします。なお、行き違いにご送金された方は何卒ご容赦下さい。

本会報は会員名簿記載の住所に郵送されております。お手もとに送られてこない方を御存知でしたら、同窓会事務局への住所変更の連絡を勧めていただくと幸いです。

平成15年度熊本大学薬学部同窓会総会および懇親会のご案内

同窓会会則施行細則第7条で、同窓会総会は九州山口薬学大会開催時に総会を開くよう述べられておりますが、今年度は、第36回日本薬剤師会学術大会が福岡で開催されますため、九州山口薬学大会はございません。そこで平成14年度熊薬同窓会春の役員会で協議いたしました結果、第36回日本薬剤師会学術大会の開催の時に総会および懇親会を、熊薬福岡支部のご協力をいただきまして行うこととなりました。前述の学会が全国規模の学会でありますことから、本総会には同窓生が各地からいらっしゃるのではないかと期待いたしております。どうか万障お繰り合わせの上、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、準備の都合上、ご参加ご希望の方は、9月30日までに熊薬同窓会事務局へ(1)お名前、(2)卒業年度、(3)連絡先(mail, Tel, Fax, 住所のいずれか1つ以上)をご連絡いただきますようお願い申し上げます。

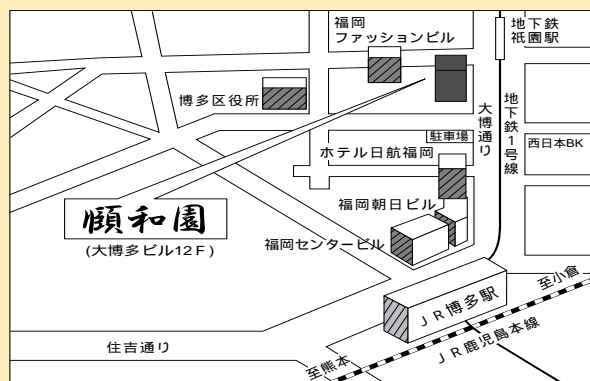
万が一、変更等が生じた場合のご連絡は、参加予約いただきました方の方に限らせていただきますので、予めご了承ください。

日時 平成15年10月12日(日)20:00より
場所 頤和園(いわえん) 電話092-471-1021
会費 5000円、当日徴収

申込締切 9月30日

申込先

- 1) 062-0973 熊本市大江本町5の1 熊本大学薬学部 熊薬同窓会 熊薬同窓会幹事長 森内宏志
- 2) 電話およびFax: 096-371-4766
- 3) E-mail: miyamoto@www.pharm.kumamoto-u.ac.jp



熊薬同窓会々報

第 40 号

平成 15 年 6 月 30 日
発行

熊薬の新たな挑戦 教育・研究の改革と整備について

大学院薬学教育部長・薬学部長
小田切 優樹



本年4月から上釜前学部長のあとを受けて、不肖私が薬学部長への就任と併せて、初代大学院薬学教育部長を仰せつかりました。及ばずながら懸命に勤める所存でございますので、同窓会会員の皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

大学は今、改革の大波が押し寄せ、大きく変貌を遂げようとしています。国際競争の加速化、少子化、国立大学法人化と、大学の力量が今まで以上に問われる時代になりました。

薬学を取り巻く環境も大きく変わり、現行の4年制では薬剤師養成には不十分という合意が得られつつあります。正に、薬学は大きな転機を迎えようとしています。

熊本大学薬学部(熊薬)におきましても、時代に対応すべく、最先端の教育と研究の在り方を求めて改革を重ねてきました。上釜前学部長が詳細に述べられておりますように(熊薬同窓会々報第39号平成14年12月発行)今年4月よりポストゲノム時代の生命科学研究に対応するため、医学系・薬学系の教官スタッフを統合した医学薬学研究部に加えて、医学教育部、薬学教育部という日本で最初の組織体系を構築し、新しい一歩を踏み出しております。そこで、スタートしたばかりの大学院

と来春竣工予定の大江総合研究棟の概要についてご報告致します。

医学薬学系大学院では、1)生命現象の正常を把握し異常を定義する基盤的研究の充実、2)臓器の異常(病気)だけでなくそれをもつ病人を治療する全人的医療の実践、3)病気を予知し予防する予防医学への先端医学の導入、4)未知の医学・薬学・医療への挑戦を、基本目標として掲げております。この理念に従って、研究推進のための「研究部」と人材育成のための「教育部」を設置しました。

当然のことながら、研究部、教育部及び学部には、教授会が置かれまゝ。教官人事、予算並びにその他研究に関する重要事項は研究部教授会



熊本大学大江総合研究棟(完成予想図)

目次

近況報告:新生熊薬づくりへの取り組み	1	薬学展開催のお知らせ	13
同窓会会長あいさつ	3	学内だより	13
加瀬佳年先生を悼む	3	慶事	13
新任教官紹介	4	博士号取得者	14
研究室だより	5	庶務報告	14
支部だより	5	訃報	15
鹿児島支部・大分支部		就職(進学)先一覧	15
関東支部(東京バットン会)		寄付者一覧	16
卒業生だより	8	1-10千人会会員一覧	16
熊薬、昔は今(19)	9	寄付者芳名録	18
熊薬研究助成金受領者研究報告書	10	表彰者	18
第5回「くすりと食物」シンポジウムを終えて	12	編集後記	18
学会・シンポジウム開催のお知らせ	12	連絡先	18
卒後教育のお知らせ	12	熊薬研究助成会規則・熊本大学薬学部同窓会会則	19
平成15年度熊本大学薬学部公開講座「薬が効きやすい人、効きにくい人」	12	「1-10千人会」について	20
和漢医薬学会大会へのお誘い	12	熊薬同窓会からのご願い	20
日本結晶学会	13	平成15年度総会および懇親会のご案内	20